

令和7年5月13日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室
縦断調査管理官 菅沼 伸至
室長補佐 清水 美奈 (内線 7473)
(担当) 出生児縦断統計係 (内線 7566)
(代表電話) 03(5253)1111
(直通電話) 03(3595)2321

第14回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
1 母の就業状況の変化	3 頁
2 こどもの朝食のとり方	5 頁
3 こどもの悩みや不安	7 頁
4 こどもが将来就きたい職業	9 頁
5 家庭での会話とこどもが考える将来	10 頁
統計表	11 頁
用語の定義	19 頁

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス (<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/23/index.html>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 22 年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21 世紀の初年である平成 13 年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の平成 22 年（2010 年）5 月 10 日から同月 24 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 14 回調査における対象児は 14 歳（中学 2 年生）である。

3 調査の時期

令和 6 年 5 月 25 日とした。

（参考：第 1 回調査から第 6 回調査は 12 月 1 日とし、第 7 回調査以降 5 月 25 日とした。）

4 調査事項

保護者…父母の就業状況、子育てについて、こどもに将来就いてほしい職業 等
こども…家族の状況、父母との会話、将来について、就きたい職業 等

5 調査の方法及び結果の集計

調査票の配布及び回収は郵送により行った。第 10 回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

なお、結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第 1 回	43,767	38,554	88.1%
第 2 回	38,523	33,356	86.6%
第 3 回	37,582	32,380	86.2%
第 4 回	34,563	29,582	85.6%
第 5 回	32,830	28,161	85.8%
第 6 回	30,705	27,785	90.5%
第 7 回	29,434	25,397	86.3%
第 8 回	28,511	24,441	85.7%
第 9 回	27,397	24,204	88.3%
第 10 回	26,141	24,041	92.0%
第 11 回	25,362	23,216	91.5%
第 12 回	24,790	22,278	89.9%
第 13 回	24,755	20,830	84.1%
第 14 回	24,672	20,295	82.3%

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）
第9回調査	9歳（小学3年生）
第10回調査	10歳（小学4年生）
第11回調査	11歳（小学5年生）
第12回調査	12歳（小学6年生）
第13回調査	13歳（中学1年生）
第14回調査	14歳（中学2年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

計数のない場合	-
統計項目のあり得ない場合	・
比率が微少（0.05未満）の場合	0.0

- (4) 「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」と「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成13年出生児」、「平成22年出生児」としている。
なお、「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」は、平成13年1月10日から同月17日の間及び7月10日から同月17日の間に出生した子を対象としたものである。
- (5) 「1 母の就業状況の変化」（3～4頁）及び統計表1～2（11～12頁）に記載している「出産1年前」、「出産半年後」の「出産」とは、調査対象である子の出産をいう。
- (6) 第12回調査までは、同じ調査票に子どもと保護者が回答する方法としていたが、第13回調査以降は、平成13年出生児、平成22年出生児とも対象児本人用と保護者用として調査票を分冊し、それぞれが回答する方法とした。

結果の概要

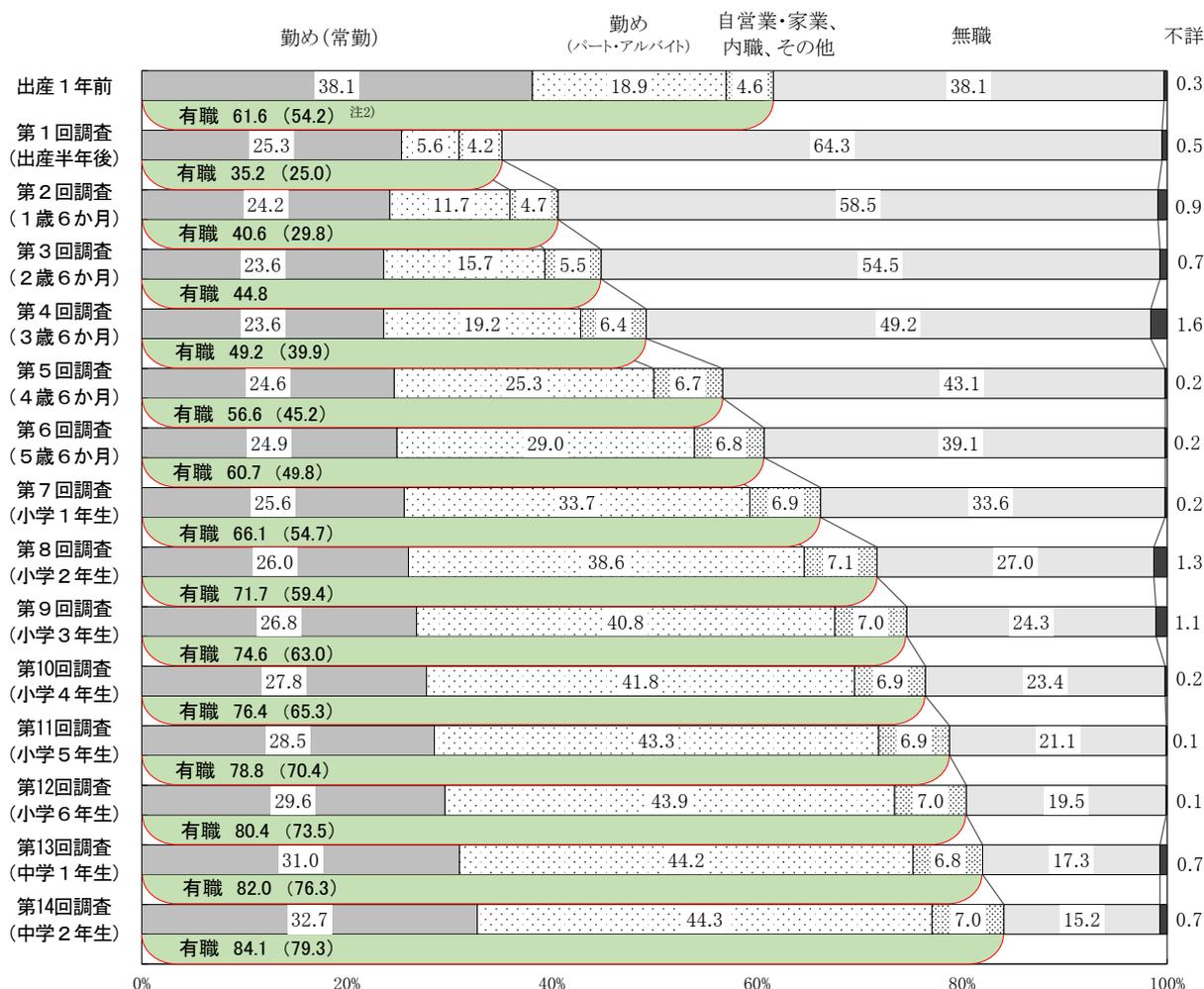
1 母の就業状況の変化

平成22年出生児について、母が有職の割合は第14回調査（中学2年生）で84.1%と、平成13年出生児（第14回調査）の79.3%に比べて4.8ポイント高くなっている。また、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第14回調査まで継続して「勤め（常勤）」の割合は32.4%と、平成13年出生児の24.1%に比べて8.3ポイント高くなっている

平成22年出生児について、母が有職の割合は出産1年前の61.6%から第1回調査（出産半年後）で35.2%に低下したが、その後は年々上昇し、第14回調査（中学2年生）では84.1%と、平成13年出生児（第14回調査）の79.3%に比べて4.8ポイント高くなっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（常勤）」の割合は、第3回調査（2歳6か月）の23.6%から第14回調査（中学2年生）の32.7%までゆるやかな上昇傾向にあり、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の5.6%から年々上昇し、第14回調査（中学2年生）では44.3%となっている。また、平成13年出生児と比べると、各回における母が有職の割合はいずれも高くなっている。（図1）

図1 母の就業状況の変化・世代間比較



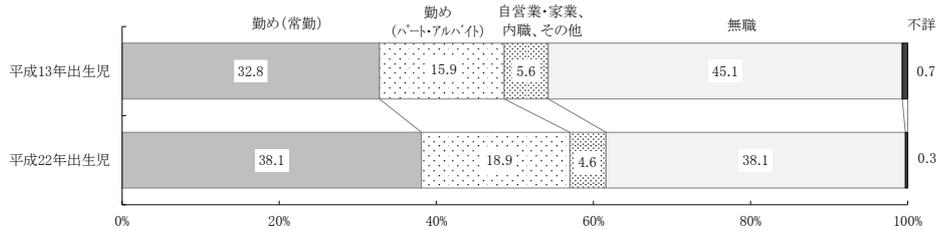
注：1）平成22年出生児の第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数14,890）を集計。

2）（ ）内の数値は、平成13年出生児の第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数24,265）を集計したものである。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

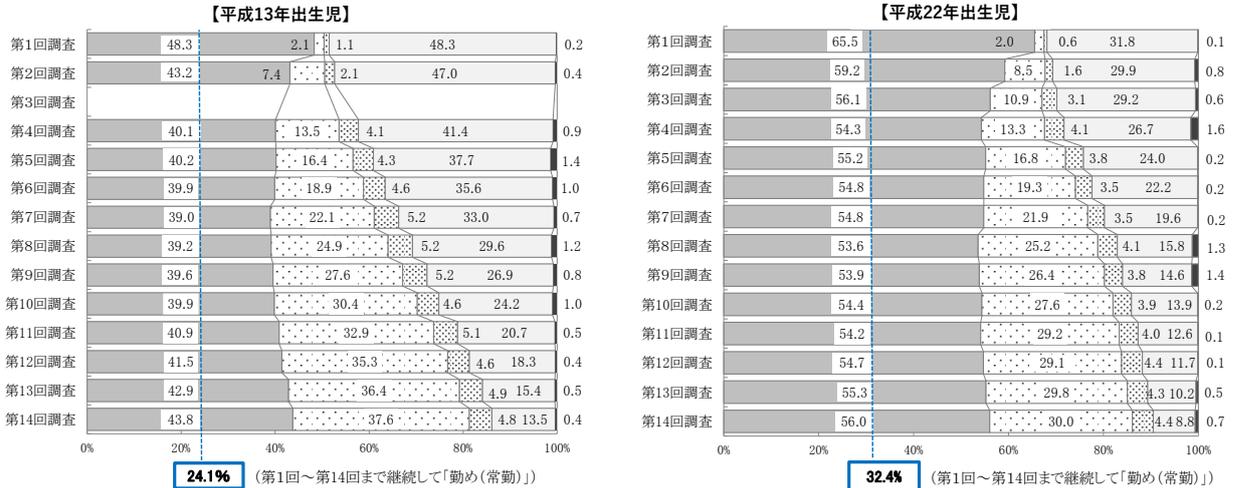
平成22年出生児について、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の第1回調査（出産半年後）から第14回調査（中学2年生）までの就業状況の変化をみると、各回における「勤め（常勤）」の割合は平成13年出生児より高い割合で推移しており、さらに、第1回調査から第14回調査まで継続して「勤め（常勤）」の割合は平成22年出生児では32.4%と、平成13年出生児の24.1%に比べて8.3ポイント高くなっている（図2）。

図2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較

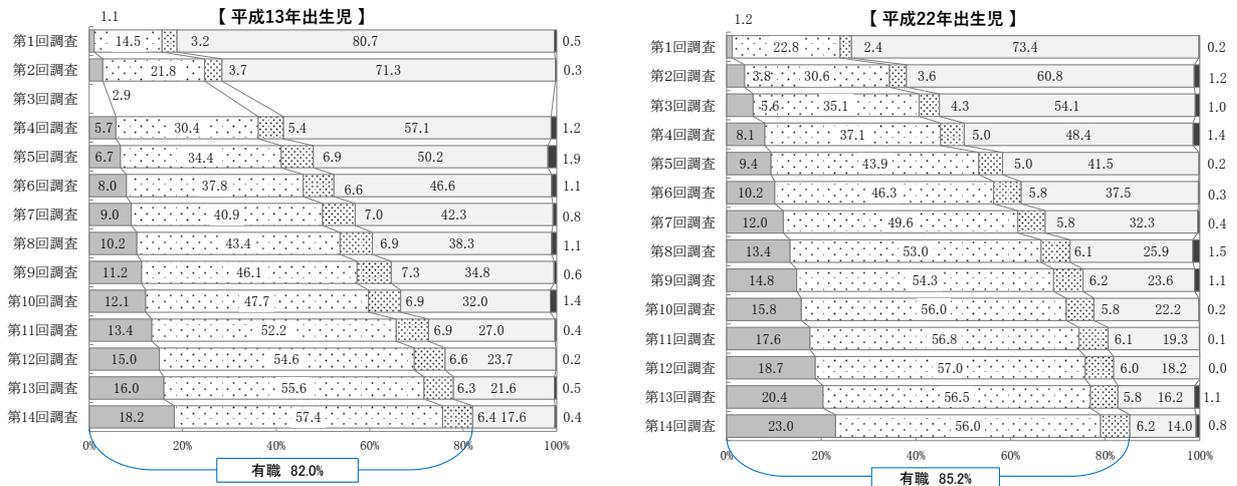
(1) 出産1年前の母の就業状況



(2) 出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の就業状況の変化



(3) 出産1年前の就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の就業状況の変化



注：第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（平成13年出生児 総数24,265、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」7,957、「勤め（パート・アルバイト）」3,849、平成22年出生児 総数14,890、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」5,669、「勤め（パート・アルバイト）」2,817）を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

2 こどもの朝食のとり方

平成22年出生児について、「朝食を食べる」の割合は9割以上となっている。また、「朝食を食べない」こどもについて、その理由を平成13年出生児と比べると、「朝は食欲がない」が上昇している

平成22年出生児について、第11回調査（小学5年生）から第14回調査（中学2年生）までのこどもの朝食のとり方をみると、「朝食を食べる」の割合は9割以上となっている。そのうち、主食、主菜、副食を「いつもバランスよく食べている」の割合は3割以上であり、この傾向は平成13年出生児も同様である。（表1）

一方、「朝食を食べない」こどもについて、食べない理由を平成13年出生児と比べると、「朝は食欲がない」が上昇しており、「食べる時間がない」は低下している（図3）。

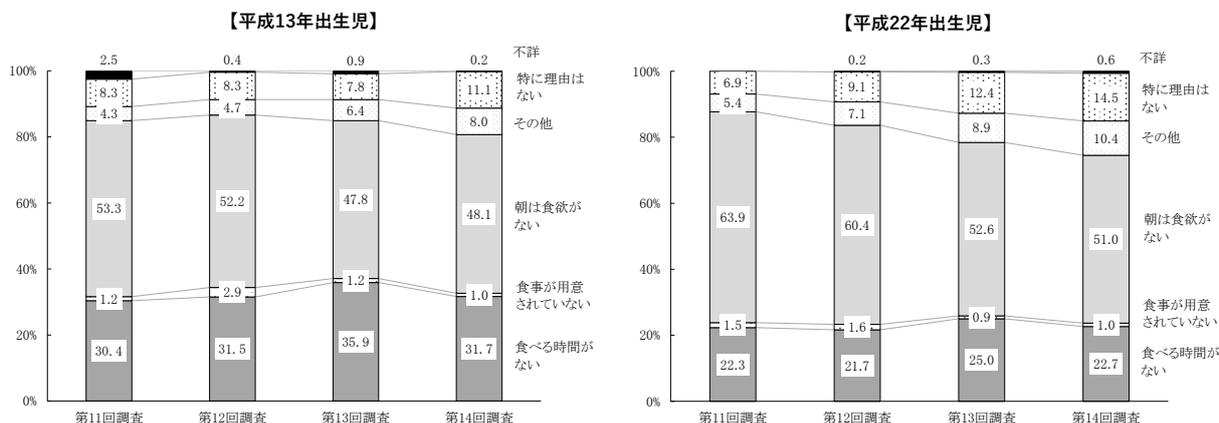
表1 こどもの朝食のとり方の変化・世代間比較

(単位:%)

		第11回調査 (小学5年生)	第12回調査 (小学6年生)	第13回調査 (中学1年生)	第14回調査 (中学2年生)
平成13年 出生児	総数	100.0	100.0	100.0	100.0
	朝食を食べる	97.1 (100.0)	96.6 (100.0)	98.0 (100.0)	97.7 (100.0)
	（再掲）いつもバランスよく食べている	(35.2)	(35.8)	(36.8)	(35.8)
	ときどきバランスよく食べている	(49.5)	(47.8)	(45.0)	(43.7)
	バランスよく食べることはほとんどない	(15.1)	(16.2)	(18.0)	(20.3)
朝食を食べない	1.8	2.0	1.3	1.9	
平成22年 出生児	総数	100.0	100.0	100.0	100.0
	朝食を食べる	97.6 (100.0)	96.4 (100.0)	96.6 (100.0)	95.7 (100.0)
	（再掲）いつもバランスよく食べている	(31.9)	(32.5)	(37.7)	(37.1)
	ときどきバランスよく食べている	(46.9)	(45.5)	(41.3)	(40.7)
	バランスよく食べることはほとんどない	(21.0)	(21.9)	(20.8)	(21.9)
朝食を食べない	1.8	2.8	1.9	2.8	

- 注：1）第11回調査から第14回調査まですべて回答を得た者（平成13年出生児 27,189、平成22年出生児 18,005）を集計。なお、第13回調査より「朝食を食べる」には「朝食を食べないことがある」が含まれる。
 2）総数には「朝食のとり方不詳」が含まれる。
 3）（ ）内は「朝食を食べる」と回答した者を100として集計。なお、「朝食を食べる」には「バランス不詳」が含まれる。

図3 朝食を食べないこどもの食べない理由の変化・世代間比較

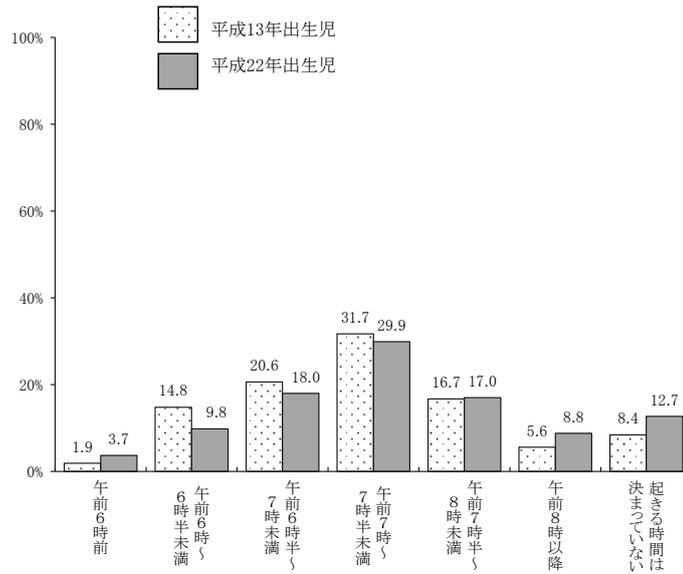


注：第11回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者（平成13年出生児 第11回調査484、第12回調査552、第13回調査345、第14回調査514、平成22年出生児 第11回調査332、第12回調査507、第13回調査348、第14回調査512）を集計。

平成 22 年出生児について、朝食を食べないこどもの平日の起床時間をみると、「起きる時間は決ま
っていない」は 12.7%と、平成 13 年出生児の 8.4%に比べて 4.3 ポイント高くなっている（図 4）。

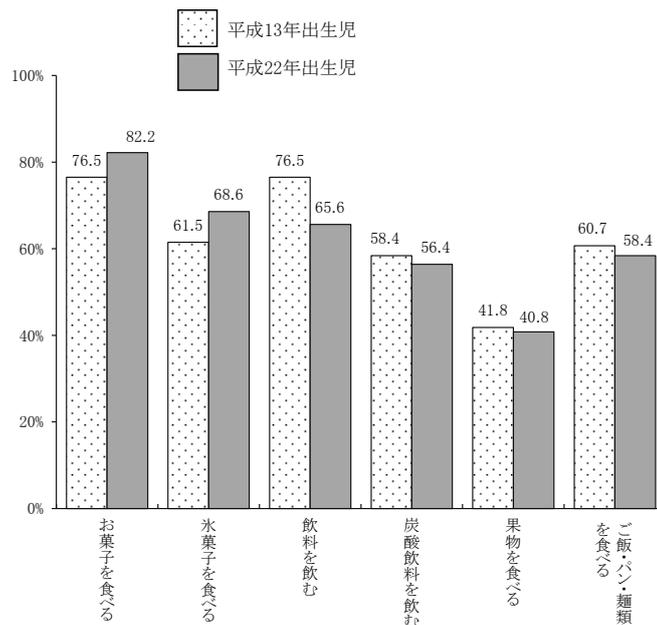
また、学校が終わった後、寝るまでの間に、朝食を食べないこどもが間食をとる（「よく食べる・よ
く飲む」「ときどき食べる・ときどき飲む」）状況を見ると、「お菓子を食べる」は 82.2%と、平成 13 年
出生児の 76.5%に比べて 5.7 ポイント高く、「氷菓子を食べる」は 68.6%と、平成 13 年出生児の 61.5%
と比べて 7.1 ポイント高くなっている（図 5）。

図 4 朝食を食べないこどもの平日の起床時間・世代間比較



注：第 11 回調査から第 14 回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者（平成 13 年出生児 第 14 回調査 514、平成 22 年出生児第 14 回調査 512）を集計。

図 5 朝食を食べないこどもの間食をとる状況・世代間比較



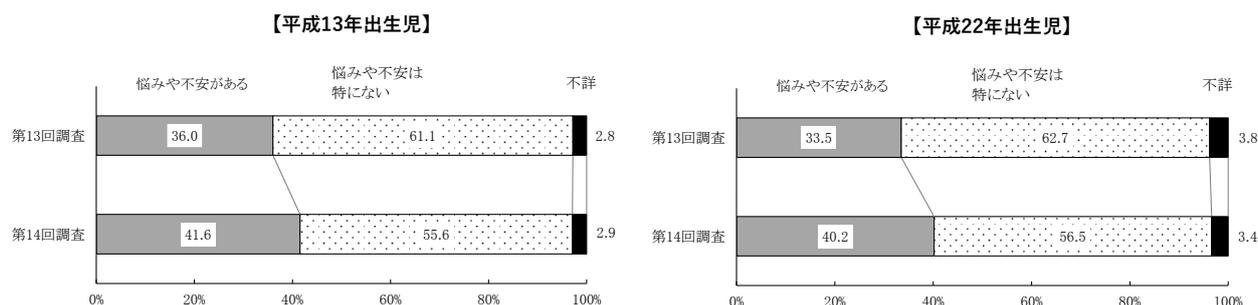
注：第 11 回調査から第 14 回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者（平成 13 年出生児 第 14 回調査 514、平成 22 年出生児第 14 回調査 512）を集計。

3 こどもの悩みや不安

平成22年出生児について、「悩みや不安がある」の割合は、第14回調査のほうが第13回調査より高く、特に深い悩みや強い不安の内容は「学校や塾の成績に関すること」が最も高くなっている。また、相談する相手は「お母さん」「友人」「お父さん」の順で高くなっている

平成22年出生児について、こどもの悩みや不安の有無をみると、「悩みや不安がある」の割合は第14回調査（中学2年生）で40.2%と、第13回調査（中学1年生）の33.5%に比べて6.7ポイント高く、特に深い悩みや強い不安の内容は「学校や塾の成績に関すること」が最も高くなっている。これらの傾向は平成13年出生児も同様である。（図6、表2）

図6 こどもの悩みや不安の有無の変化・世代間比較



注：第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者（平成13年出生児 28,311、平成22年出生児 18,959）を集計。

表2 こどもの特に深い悩みや強い不安の内容の変化・世代間比較（上位5つ）

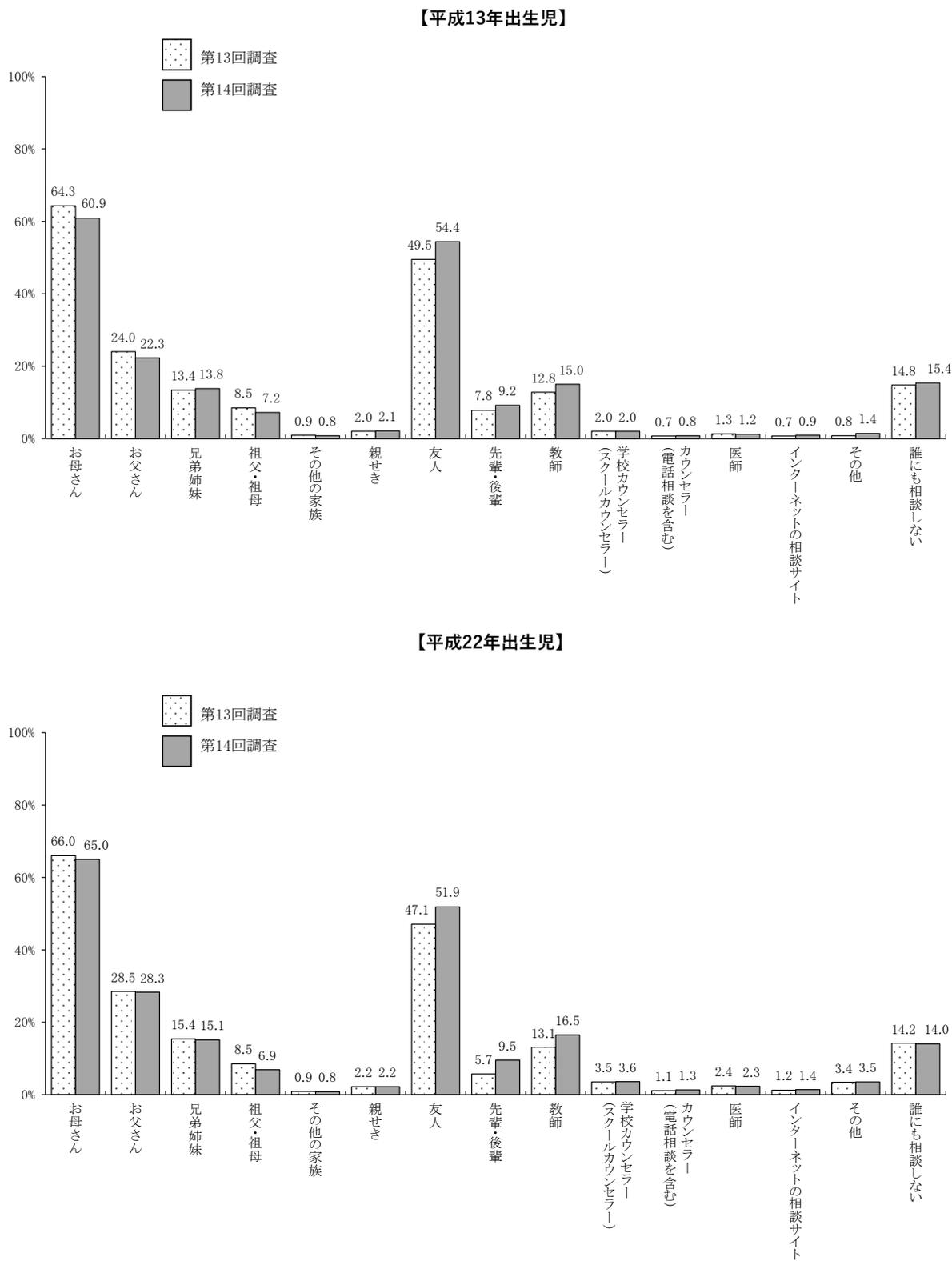
平成13年出生児		平成22年出生児	
第13回調査(中学1年生)			
順位	内容	順位	割合 (%)
1	学校や塾の成績に関すること	1	23.5
2	進路に関すること	2	13.4
3	友達との関係に関すること	3	9.9
4	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関すること	4	8.8
5	自分の容姿に関すること	5	8.5
第14回調査(中学2年生)			
順位	内容	順位	割合 (%)
1	学校や塾の成績に関すること	1	22.7
2	進路に関すること	2	16.0
3	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関すること	3	11.1
4	友達との関係に関すること	4	6.9
5	自分の容姿に関すること	5	6.6

注：1) 第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」（平成13年出生児 第13回調査10,200、第14回調査11,766、平成22年出生児 第13回調査6,357、第14回調査7,618）と回答した者を集計。

2) 順位は各調査回における「内容不詳」を除いた順位である。

平成22年出生児について、こどもが悩みや不安を相談する相手を見ると、「お母さん」「友人」「お父さん」の順で高く、なかでも「友人」は51.9%と、第13回調査（中学1年生）の47.1%と比べて4.8ポイント高くなっている。また、平成13年出生児（第14回調査）と比べると、「お母さん」は65.0%と4.8ポイント高く、「お父さん」は28.3%と6.0ポイント高くなっている。（図7）

図7 こどもが悩みや不安について相談する相手（複数回答）の変化・世代間比較



注：第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」と回答した者（平成13年出生児 第13回調査 10,200、第14回調査11,766、平成22年出生児 第13回調査6,357、第14回調査7,618）を集計。

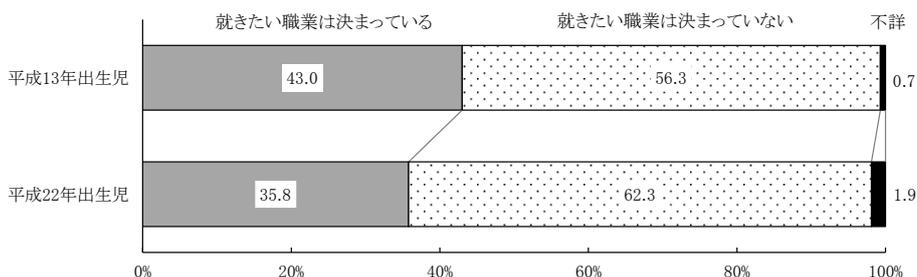
4 こどもが将来就きたい職業

平成 22 年出生児について、こどもが将来就きたい職業は「決まっている」の割合は 35.8%と、平成 13 年出生児の 43.0%に比べて 7.2 ポイント低くなっている

平成 22 年出生児について、こどもが将来就きたい職業は「決まっている」の割合は 35.8%と、平成 13 年出生児の 43.0%に比べて 7.2 ポイント低くなっている（図 8）。

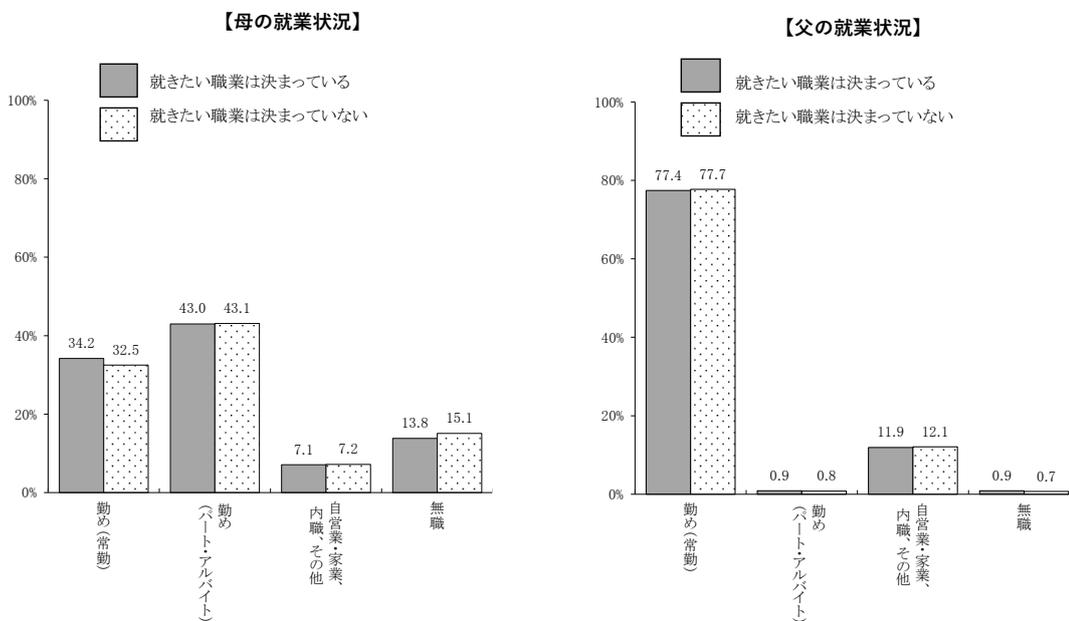
また、母、父の就業状況とこどもが将来就きたい職業の有無をみると、「決まっている」こどもと「決まっていない」こどもで母、父とも就業状況の割合の差はみられない（図 9）。

図 8 こどもが将来就きたい職業の有無・世代間比較



注：第 14 回調査で回答を得た者（平成 13 年出生児 29,506、平成 22 年出生児 20,295）を集計。

図 9 母、父の就業状況とこどもが将来就きたい職業の有無



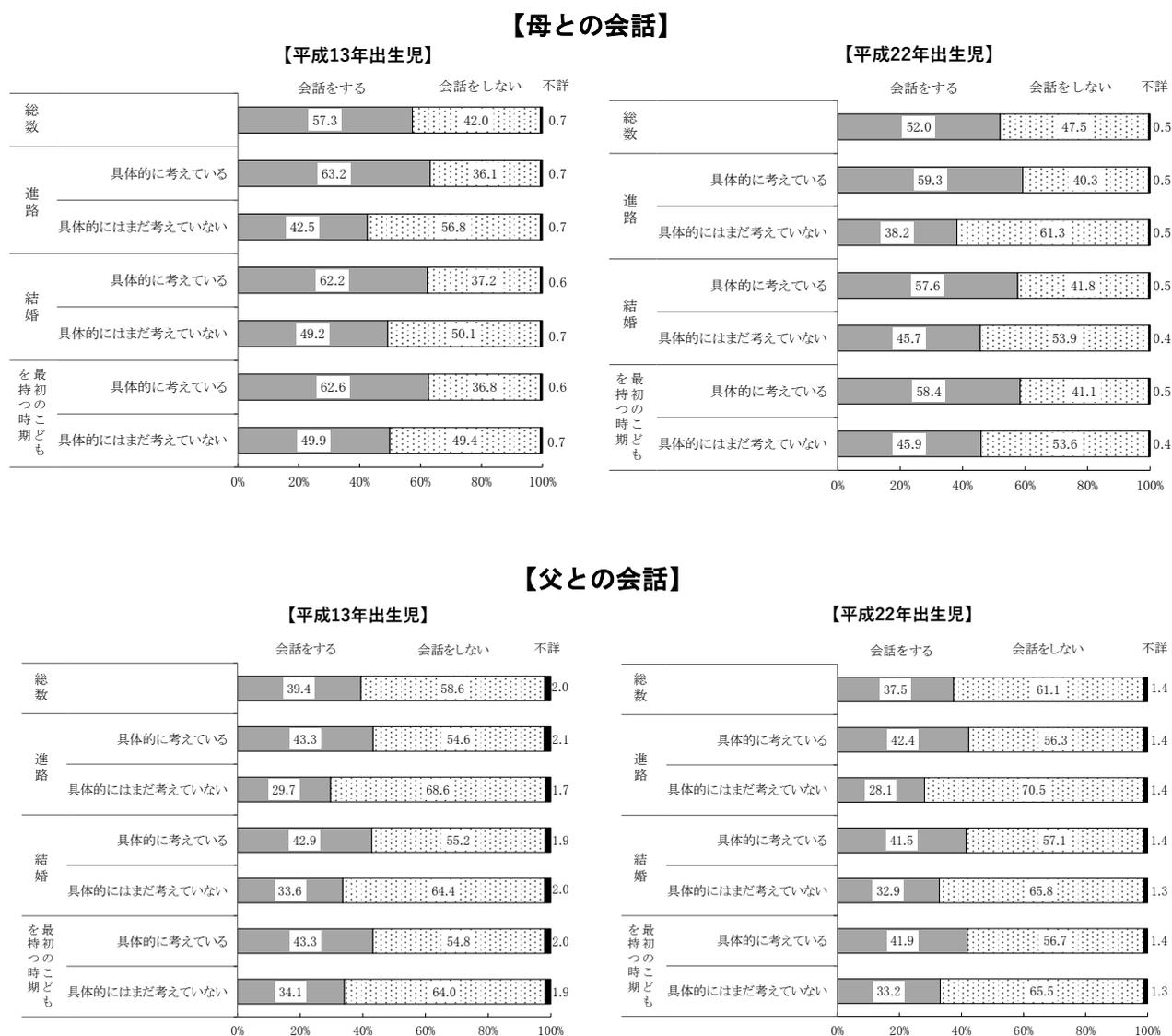
注：第 14 回調査で回答を得た者（平成 22 年出生児 20,295）のうち、「就きたい職業は決まっている」「就きたい職業は決まっていない」と回答した者をそれぞれ 100 として集計。

5 家庭での会話と子どもが考える将来

平成 22 年出生児について、将来や進路のことに関する母、父との会話の状況と子ども自身が考える将来をみると、将来を「具体的に考えている」は「具体的にはまだ考えていない」と比べて、「会話をする」の割合が高くなっている

平成 22 年出生児について、将来や進路のことに関する母、父との会話の状況と子ども自身が考える将来をみると、「進路」「結婚」「最初の子どもを持つ時期」のすべてにおいて、将来を「具体的に考えている」は「具体的にはまだ考えていない」と比べて、母、父とも「会話をする」（「よくする」「ときどきする」）の割合が高く、この傾向は平成 13 年出生児も同様である（図 10）。

図 10 母、父との会話（将来や進路のこと）の状況と
子ども自身が考える将来・世代間比較



注：第 14 回調査で回答を得た者のうち、母との会話は母と同居している者（平成 13 年出生児 29,022、平成 22 年出生児 19,783）、父との会話は父と同居している者（平成 13 年出生児 26,150、平成 22 年出生児 18,283）を集計。

統計表

統計表1 母の就業状況の変化・世代間比較（3頁図1）

（単位：人）

調査回	就業状況	平成22年出生児					平成13年出生児		
		総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳	総数	有職
出産1年前		14 890	5 669	2 817	681	5 677	46	24 265	13 154
第1回調査(出産半年後)		14 890	3 771	835	630	9 573	81	24 265	6 074
第2回調査		14 890	3 603	1 738	704	8 707	138	24 265	7 229
第3回調査		14 890	3 509	2 339	821	8 112	109	24 265	・
第4回調査		14 890	3 516	2 854	957	7 319	244	24 265	9 690
第5回調査		14 890	3 657	3 773	1 002	6 423	35	24 265	10 978
第6回調査		14 890	3 705	4 323	1 006	5 828	28	24 265	12 073
第7回調査		14 890	3 816	5 011	1 022	5 006	35	24 265	13 265
第8回調査		14 890	3 875	5 745	1 060	4 014	196	24 265	14 414
第9回調査		14 890	3 995	6 069	1 038	3 624	164	24 265	15 294
第10回調査		14 890	4 136	6 221	1 021	3 484	28	24 265	15 842
第11回調査		14 890	4 250	6 453	1 026	3 144	17	24 265	17 081
第12回調査		14 890	4 401	6 535	1 040	2 897	17	24 265	17 825
第13回調査		14 890	4 612	6 576	1 019	2 573	110	24 265	18 506
第14回調査		14 890	4 876	6 595	1 049	2 259	111	24 265	19 244

注：第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較（4頁図2）

(単位:人)

調査回	就業状況	総数	勤め(常勤)	勤め(パート・アルバイト)	自営業・家業、内職、その他	無職	不詳	(再掲)第1回調査から第14回調査まで継続して「勤め(常勤)」の母
(1) 出産1年前の母の就業状況								
	平成13年出生児	24 265	7 957	3 849	1 348	10 938	173	
	平成22年出生児	14 890	5 669	2 817	681	5 677	46	
(2) 出産1年前の就業状況が「勤め(常勤)」の母の就業状況の変化								
平成13年出生児								
	第1回調査	7 957	3 846	167	85	3 844	15	・
	第2回調査	7 957	3 437	586	167	3 736	31	・
	第3回調査	7 957	・	・	・	・	・	・
	第4回調査	7 957	3 189	1 074	328	3 298	68	・
	第5回調査	7 957	3 201	1 305	339	2 999	113	・
	第6回調査	7 957	3 178	1 503	367	2 831	78	・
	第7回調査	7 957	3 103	1 759	415	2 625	55	・
	第8回調査	7 957	3 119	1 978	413	2 352	95	・
	第9回調査	7 957	3 148	2 193	413	2 141	62	・
	第10回調査	7 957	3 177	2 416	363	1 924	77	・
	第11回調査	7 957	3 253	2 616	404	1 645	39	・
	第12回調査	7 957	3 304	2 807	365	1 453	28	・
	第13回調査	7 957	3 411	2 893	390	1 227	36	・
	第14回調査	7 957	3 484	2 989	381	1 073	30	1 914
平成22年出生児								
	第1回調査	5 669	3 714	115	35	1 802	3	・
	第2回調査	5 669	3 355	482	91	1 697	44	・
	第3回調査	5 669	3 179	620	178	1 658	34	・
	第4回調査	5 669	3 076	755	232	1 516	90	・
	第5回調査	5 669	3 130	952	217	1 360	10	・
	第6回調査	5 669	3 107	1 095	197	1 261	9	・
	第7回調査	5 669	3 109	1 240	200	1 109	11	・
	第8回調査	5 669	3 037	1 428	235	894	75	・
	第9回調査	5 669	3 058	1 495	214	825	77	・
	第10回調査	5 669	3 084	1 564	221	790	10	・
	第11回調査	5 669	3 072	1 656	224	714	3	・
	第12回調査	5 669	3 099	1 651	247	665	7	・
	第13回調査	5 669	3 135	1 687	241	577	29	・
	第14回調査	5 669	3 176	1 700	251	501	41	1 837
(3) 出産1年前の就業状況が「勤め(パート・アルバイト)」の母の就業状況の変化								
平成13年出生児								
	第1回調査	3 849	42	559	122	3 106	20	
	第2回調査	3 849	112	840	141	2 745	11	
	第3回調査	3 849	・	・	・	・	・	
	第4回調査	3 849	221	1 172	209	2 199	48	
	第5回調査	3 849	259	1 323	264	1 931	72	
	第6回調査	3 849	307	1 454	254	1 793	41	
	第7回調査	3 849	346	1 576	269	1 629	29	
	第8回調査	3 849	392	1 671	267	1 476	43	
	第9回調査	3 849	432	1 774	280	1 338	25	
	第10回調査	3 849	464	1 837	264	1 232	52	
	第11回調査	3 849	516	2 011	267	1 038	17	
	第12回調査	3 849	576	2 101	254	912	6	
	第13回調査	3 849	615	2 141	242	832	19	
	第14回調査	3 849	700	2 211	245	676	17	
平成22年出生児								
	第1回調査	2 817	35	643	67	2 067	5	
	第2回調査	2 817	106	863	102	1 712	34	
	第3回調査	2 817	158	988	120	1 524	27	
	第4回調査	2 817	229	1 044	141	1 364	39	
	第5回調査	2 817	265	1 237	141	1 168	6	
	第6回調査	2 817	287	1 303	164	1 055	8	
	第7回調査	2 817	337	1 398	163	909	10	
	第8回調査	2 817	378	1 493	173	731	42	
	第9回調査	2 817	418	1 529	174	664	32	
	第10回調査	2 817	446	1 578	164	624	5	
	第11回調査	2 817	496	1 601	171	545	4	
	第12回調査	2 817	526	1 607	170	513	1	
	第13回調査	2 817	576	1 591	162	457	31	
	第14回調査	2 817	648	1 577	175	394	23	

注：第1回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表3 こどもの朝食のとり方の変化・世代間比較（5頁表1）

(単位:人)

	第11回調査 (小学5年生)	第12回調査 (小学6年生)	第13回調査 (中学1年生)	第14回調査 (中学2年生)
平成13年出生児				
総数	27 189	27 189	27 189	27 189
朝食を食べる	26 405	26 252	26 656	26 567
(再掲) いつもバランスよく食べている	9 299	9 401	9 812	9 501
ときどきバランスよく食べている	13 063	12 560	11 989	11 623
バランスよく食べることはほとんどない	3 994	4 259	4 785	5 396
不詳	49	32	70	47
朝食を食べない	484	552	345	514
不詳	300	385	188	108
平成22年出生児				
総数	18 005	18 005	18 005	18 005
朝食を食べる	17 566	17 357	17 389	17 234
(再掲) いつもバランスよく食べている	5 598	5 633	6 548	6 402
ときどきバランスよく食べている	8 242	7 906	7 187	7 013
バランスよく食べることはほとんどない	3 694	3 796	3 614	3 782
不詳	32	22	40	37
朝食を食べない	332	507	348	512
不詳	107	141	268	259

注：第11回調査から第14回調査まですべて回答を得た者を集計。なお、第13回調査より「朝食を食べる」には「朝食を食べないことがある」が含まれる。

統計表4 朝食を食べないこどもの食べない理由の変化・世代間比較（5頁図3）

(単位:人)

	第11回調査 (小学5年生)	第12回調査 (小学6年生)	第13回調査 (中学1年生)	第14回調査 (中学2年生)
平成13年出生児				
朝食を食べない	484	552	345	514
食べる時間がない	147	174	124	163
食事が用意されていない	6	16	4	5
朝は食欲がない	258	288	165	247
その他	21	26	22	41
特に理由はない	40	46	27	57
不詳	12	2	3	1
平成22年出生児				
朝食を食べない	332	507	348	512
食べる時間がない	74	110	87	116
食事が用意されていない	5	8	3	5
朝は食欲がない	212	306	183	261
その他	18	36	31	53
特に理由はない	23	46	43	74
不詳	-	1	1	3

注：第11回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者を集計。

統計表5 朝食を食べないこどもの平日の起床時間・世代間比較（6頁図4）

(単位:人)

	第14回調査 (中学2年生)
平成13年出生児	
朝食を食べない	514
午前6時前	10
午前6時～6時半未満	76
午前6時半～7時未満	106
午前7時～7時半未満	163
午前7時半～8時未満	86
午前8時以降	29
起きる時間は決まっていない	43
不詳	1
平成22年出生児	
朝食を食べない	512
午前6時前	19
午前6時～6時半未満	50
午前6時半～7時未満	92
午前7時～7時半未満	153
午前7時半～8時未満	87
午前8時以降	45
起きる時間は決まっていない	65
不詳	1

注：第11回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者を集計。

統計表6 朝食を食べないこどもの間食をとる状況・世代間比較（6頁図5）

(単位:人)

	第14回調査 (中学2年生)
平成13年出生児	
朝食を食べない	514
お菓子を食べる	393
氷菓子を食べる	316
飲料を飲む	393
炭酸飲料を飲む	300
果物を食べる	215
ご飯・パン・麺類を食べる	312
平成22年出生児	
朝食を食べない	512
お菓子を食べる	421
氷菓子を食べる	351
飲料を飲む	336
炭酸飲料を飲む	289
果物を食べる	209
ご飯・パン・麺類を食べる	299

注：第11回調査から第14回調査まですべて回答を得た者のうち、「朝食を食べない」と回答した者を集計。

統計表7 こどもの悩みや不安の有無の変化・世代間比較（7頁図6）

(単位:人)

	第13回調査 (中学1年生)	第14回調査 (中学2年生)
平成13年出生児		
総数	28 311	28 311
悩みや不安がある	10 200	11 766
悩みや不安は特にない	17 310	15 732
不詳	801	813
平成22年出生児		
総数	18 959	18 959
悩みや不安がある	6 357	7 618
悩みや不安は特にない	11 890	10 704
不詳	712	637

注：第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者を集計。

統計表8 こどもの特に深い悩みや強い不安の内容の変化・世代間比較（上位5つ）（7頁表2）

(単位:人)

平成13年出生児		平成22年出生児	
第13回調査(中学1年生)			
順位	悩みや不安がある	順位	悩みや不安がある
	10 200		6 357
1	学校や塾の成績に関する事	1	学校や塾の成績に関する事
	3 057		1 494
2	進路に関する事	2	友達との関係に関する事
	1 058		855
3	友達との関係に関する事	3	進路に関する事
	990		627
4	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関する事	4	その他
	859		559
5	自分の容姿に関する事	5	自分の容姿に関する事
	461		543
第14回調査(中学2年生)			
順位	悩みや不安がある	順位	悩みや不安がある
	11 766		7 618
1	学校や塾の成績に関する事	1	学校や塾の成績に関する事
	2 813		1 729
2	進路に関する事	2	進路に関する事
	2 419		1 217
3	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関する事	3	友達との関係に関する事
	1 053		849
4	友達との関係に関する事	4	自分の容姿に関する事
	808		529
5	自分の容姿に関する事	5	部活動(クラブ活動を含む)でのトラブルに関する事
	494		499

注：1) 第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」と回答した者を集計。

2) 順位は各調査回における「内容不詳」を除いた順位である。

統計表 9 こどもが悩みや不安について相談する相手（複数回答）の変化・世代間比較（8頁図7）

(単位:人)

	第13回調査 (中学1年生)	第14回調査 (中学2年生)
平成13年出生児		
総数	10 200	11 766
お母さん	6 556	7 161
お父さん	2 445	2 627
兄弟姉妹	1 362	1 622
祖父・祖母	872	843
その他の家族	92	99
親せき	208	245
友人	5 051	6 404
先輩・後輩	800	1 083
教師	1 309	1 760
学校カウンセラー(スクールカウンセラー)	203	241
カウンセラー(電話相談を含む)	67	96
医師	130	147
インターネットの相談サイト	70	110
その他	81	165
誰にも相談しない	1 506	1 807
不詳	120	73
平成22年出生児		
総数	6 357	7 618
お母さん	4 195	4 949
お父さん	1 813	2 156
兄弟姉妹	982	1 152
祖父・祖母	543	527
その他の家族	60	63
親せき	137	171
友人	2 993	3 952
先輩・後輩	363	723
教師	834	1 256
学校カウンセラー(スクールカウンセラー)	221	278
カウンセラー(電話相談を含む)	67	97
医師	153	177
インターネットの相談サイト	76	110
その他	219	266
誰にも相談しない	904	1 064
不詳	31	28

注：第13回調査及び第14回調査とも回答を得た者のうち、「悩みや不安がある」と回答した者を集計。

統計表 10 こどもが将来就きたい職業の有無・世代間比較（9頁図8）

(単位:人)

	第14回調査 (中学2年生)
平成13年出生児	
総数	29 506
就きたい職業は決まっている	12 676
就きたい職業は決まっていない	16 613
不詳	217
平成22年出生児	
総数	20 295
就きたい職業は決まっている	7 261
就きたい職業は決まっていない	12 639
不詳	395

注：第14回調査で回答を得た者を集計。

統計表 11 母、父の就業状況とこどもが将来就きたい職業の有無（9頁図9）

(単位:人)

	第14回調査(中学2年生)							
	母の就業状況				父の就業状況			
	総数	就きたい職業は 決まっている	就きたい職業は 決まっていない	不詳	総数	就きたい職業は 決まっている	就きたい職業は 決まっていない	不詳
平成22年出生児								
総数	20 295	7 261	12 639	395	20 295	7 261	12 639	395
勤め(常勤)	6 615	2 484	4 110	21	15 473	5 620	9 821	32
勤め(パート・アルバイト)	8 588	3 125	5 446	17	163	66	95	2
自営業・家業、内職、その他	1 426	512	912	2	2 393	862	1 526	5
無職	2 914	1 001	1 907	6	155	62	92	1
不詳	752	139	264	349	2 111	651	1 105	355

注：第14回調査で回答を得た者を集計。

統計表 12 母、父との会話（将来や進路のこと）の状況と
 こども自身が考える将来・世代間比較（10 頁図 10）

（単位：人）

	母				父			
	総数	会話をする	会話をしない	不詳	総数	会話をする	会話をしない	不詳
平成13年出生児								
総数	29 022	16 620	12 187	215	26 150	10 302	15 317	531
進路								
具体的に考えている	20 603	13 027	7 438	138	18 529	8 026	10 114	389
具体的にはまだ考えていない	8 228	3 493	4 674	61	7 456	2 217	5 112	127
不詳	191	100	75	16	165	59	91	15
結婚								
具体的に考えている	18 080	11 238	6 725	117	16 304	6 988	8 999	317
具体的にはまだ考えていない	10 713	5 266	5 370	77	9 646	3 243	6 213	190
不詳	229	116	92	21	200	71	105	24
最初のこどもを持つ時期								
具体的に考えている	16 821	10 524	6 189	108	15 141	6 552	8 291	298
具体的にはまだ考えていない	11 937	5 960	5 891	86	10 777	3 670	6 901	206
不詳	264	136	107	21	232	80	125	27
平成22年出生児								
総数	19 783	10 284	9 400	99	18 283	6 848	11 177	258
進路								
具体的に考えている	12 956	7 677	5 220	59	12 005	5 087	6 753	165
具体的にはまだ考えていない	6 760	2 581	4 145	34	6 223	1 748	4 389	86
不詳	67	26	35	6	55	13	35	7
結婚								
具体的に考えている	10 449	6 021	4 372	56	9 689	4 021	5 528	140
具体的にはまだ考えていない	9 259	4 233	4 989	37	8 532	2 809	5 616	107
不詳	75	30	39	6	62	18	33	11
最初のこどもを持つ時期								
具体的に考えている	9 606	5 613	3 945	48	8 896	3 730	5 044	122
具体的にはまだ考えていない	10 086	4 631	5 411	44	9 310	3 092	6 095	123
不詳	91	40	44	7	77	26	38	13

注：第 14 回調査で回答を得た者のうち、母との会話は母と同居している者、父との会話は父と同居している者を集計。

用語の定義

(1) 同居者

次の者は含まない。

- ① 長期（おおむね3か月以上）にわたって不在にしている者。
 - ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者。
- ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

(2) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの。
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者。

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者。

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの。

(3) 間食

次のようなものが含まれる。

「お菓子」

スナック菓子、ケーキ、チョコレート、アメ、せんべいなど。

「氷菓子」

アイスクリーム、アイスキャンディーなど。

「飲料」

牛乳、スポーツドリンク、果物ジュースなど。

「炭酸飲料」

コーラ、サイダーなど。

「果物」

バナナ、リンゴ、みかんなど。

「ご飯・パン・麺類」

おにぎり、菓子パン、カップ麺など。

(4) 間食をとる

学校が終わった後、寝るまでの間に、間食を「よく食べる・よく飲む」又は「ときどき食べる・ときどき飲む」を選んだ者を指す。

(5) 将来を「具体的に考えている」

次の者を指す。

「進路」

「中学卒業後に働くことを考えている」「中学卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている」「高校卒業後に働くことを考えている」「高校卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている」「大学卒業後に働くことを考えている」のいずれかを選んだ者。

「結婚」

「10代のうちにしたいと考えている」「20～24歳でしたいと考えている」「25～29歳でしたいと考えている」「30～34歳でしたいと考えている」「35～39歳でしたいと考えている」「40歳以降でしたいと考えている」「結婚はしたいが時期は考えていない」「結婚はしたくない」のいずれかを選んだ者。

「最初のこどもを持つ時期」

「10代のうちに持ちたいと考えている」「20～24歳で持ちたいと考えている」「25～29歳で持ちたいと考えている」「30～34歳で持ちたいと考えている」「35～39歳で持ちたいと考えている」「40歳以降で持ちたいと考えている」「こどもは持ちたいが時期は考えていない」「こどもは持ちたくない」のいずれかを選んだ者。

(6) 母、父と「会話をする」

将来や進路のことについて、母、父と会話を「よくする」又は「ときどきする」を選んだ者を指す。